

いぶき 2011 年度第1号新歓特集<<別紙>>

今回いぶきの制作にあたって、各地区学連および加盟校にアンケート調査を実施しました。いぶき紙面上ではそのすべてを掲載することができませんでしたが、多くの参考となるであろう意見がありましたので別紙という形で全文掲載させていただきます(一部表現の変更や不適切と思われる部分の削除を行っています)。

P1、北東学連
P5、関東学連
P9、北信越学連
P11、東海学連
P12、関西学連

北東学連新歓報告

幹事長 平野弘幸

こんにちは！北東学連幹事長の平野弘幸です。北東学連の新歓・入部状況を報告します。今年は東日本大震災の影響で北東学連ではほとんどの大学が始業延期となり、イレギュラーな日程となってしまいました。北東学連にとっては苦しい年になってしまうのかなと思いきや、聞くところによるとほとんどの大学で新歓が成功し、部員数が増加したと聞いています。うれしい限りです。

以下が各大学の入部者数です。

- 北海道大学 9人
- 岩手大学 15人
- 岩手県立大学 13人
- 東北大学 46人
- 宮城学院女子大学 9人
- 福島大学 11人

どこの大学も豊作のようです。震災の影響なんて感じさせない成功率だと思います。では具体的にはどのようなことを行ったのか、各大学に、北東学連誌『北極星』に載せる新歓報告を提出してもらったので、そこから引用させていただきます。

□北海道大学

今年度は部の存続に危機感を持っている人やオリエンを普及させたいと思っている人が中心となって新歓に力を入れた。2年目、3年目が中心となり4年目がサポートする形をとった。新歓期は4月初めからゴールデンウィーク終わりまで約1ヶ月と長いのに対して勧誘できる部員数が少ないので、全員疲弊しないように適度に休むよう指示した。

重に新歓で行ったこと

- ・オリエンテーリングという競技をどんなものか知ってもらうために、積極的に男女問わず声をかけていった。(今年の方針。これまであまりやらなかった。)
- ・授業開始の1週間、早朝に1年生が授業を受ける建物内の全教室にビラを置きにいった。(机3つに対して1枚程度置いた。)
- ・1年生が授業を受ける棟の掲示板に1ヶ月毎日ビラを貼った。
- ・食堂の2階に1ヶ月間新歓用のブースが各団体に与えられているので昼時から授業が終わる18:30まで交代で待機し、いつでも新入生に説明できるようにした。
- ・競技を知ってもらうために説明時にはオリエンのやり方がかかれた挿絵の入った説明冊子を使い競技の地図、コンパスを見せて新入生に実感を持ってもらえるように工夫した。
- ・食堂のブースや説明会に来てくれた人と必ずご飯に行くようにした。
- ・週に1回授業後に説明会を行った。説明会ではポスト、コンパス、地図、森の中の写真、部の登山などの写真を見せて競技や部の雰囲気や伝わりやすいように工夫した。
- ・また週一回での合同トレーニングにも新入生を誘った。トレーニングはリピーターが多く今年新たに成功した試みである。(鬼ごっこを行ったり、楽しめるようにした)
- ・体験会を週に1回土曜、日曜のどちらかに設けて主にパーク0を行った。1度、体験会の後に学内でジンギスカンパーティーを行った。ご飯に行くより上級生と新入生が気軽に話せて、体験会の話ができたり、部の雰囲気が伝わったりして、上級生と新入生のどちらにも好評であった。(天気に恵まれなかったため1度しか開催できなかった。毎週できる準備はしていた)

工夫したこと

- ・部のブログ、ツイッターアカウントの作成。体験会や例会の予定を告知し、また体験会の様子などを書いた。新入生があまりこの件に関してあまり知らなかったようなので効果は未知数のようだ。
- ・一度体験会に来てくれた人がまた来てくれるように、マンネリ化を避け体験会でクイズ0などをした。

□岩手大学

震災の影響

今回の新歓に関しては震災の影響により、様々な面に変更があった。第一に始動の時期である。インカレ後から本格始動の予定が大きく出ばなをくじかれた。そのため学校が開始してからも準備をすることが多く、最後まで皆を苦しめた。第二に合宿の中止である。例年は国立岩手山青少年交流の家において新歓最後の行事として合宿を行っていたが、被災者受け入れのために利用することができなかった。また、計画を立て直すのにも時間を割かざるを得なかった。

新歓行事について

1) サークルオリエンテーション

岩手大学では二日間にわたってサークルオリエンテーションが行われる。知名度の低い部活であるため、ここでいかに多くの人に存在を知ってもらうかが重要である。そのため、大きな看板・ポスターの設置やビラの配布及び積極的な勧誘活動を行った。尚、看板等には今後の新歓行事日程・代表者連絡先・通常時活動日時等の情報を記載した。また、東北大学さんのアドバイスを参考にインパクトの強いハイクオリティなものを作成した。

今回新入生 1200 人に対しビラを 1000 枚用意し、8 割を配布した。また、説明を聞いて頂いた方にメールアドレスを書いてもらい、新歓行事の告知・出席確認等に用いた。入手したメールアドレスは計 125 人分にも及んだ。

今年は岩手県立大学のサークルオリエンテーションと時期がずれていたため、協力して行った。

2) 懇親会

新入生分の飲食代を全額負担するため経費としては最も掛かった。

3) 体験オリエンテーリング

計 2 回行った。ポイントオリエンテーリング。上級生と一緒にコースを回ってもらい、基本的な技術のみ教え、オリエンテーリングを楽しんでもらった。

4) 企画〇

計 3 回行った。1 回目は移動ポスト付スコア〇、2 回目はイレイザー付スコア〇、3 回目はダミーポスト付クイズ〇を実施。

5) 講習会と交流会

合宿に代わるイベントとして、午前中に部の年間行事予定や競技の説明、技術講習を行い、午後に交流会としてボーリングを行った。

□岩手県立大学

部の危機

岩手県立大学は去年新歓が思うようにいかず、2 年生がいないという状況になり、今年の新歓も失敗すると部の存続が危ぶまれる危機的状況でした。覚悟を決めて全力で臨んだようです。

新歓で行ったこと

・新入生歓迎会

4月29日(祝金)13:00~15:30の間に行われました。部の存続を決める勝負の2時間30分です。新歓の準備として、構内の掲示板にポスターを掲示しました。

ポスターは2種類用意し、ファンシーなヴァージョンで女子受けを狙い、スポーティーなヴァージョンで体育会系確保を狙いました。掲示が若干遅れたので目立つところに貼れないことも多々ありました。

・新入生歓迎会翌日の体験オリエンテーリング、その後の体験会

翌日は8人くらい来てくれました。その後も毎週土曜日に体験オリエンテーリングを行ない、体験オリの後にはご飯を食べたり遊んだりしてアフターサービスも充実させました。新歓の日にブースに来てくれた他にポスターを見て興味を持って連絡してくれた子も何人かいました。

体験〇で意識したこと

体験オリでは、教え方などは各上級生に任せていましたが、楽しく優しく接すること、はじめはできなくても慣れてくるから大丈夫ってところは共通の認識としてありました。岩大の人数が多く、不安を感じるような新入生もいましたが、上級生が仲介に入ったりして早く打ち解けられるように、横のつながりも確保できたと思います。

新歓活動は先輩からの助言や自分たちの経験を元にポスターやビラづくり、勧誘を行いました。また、東北大学の新歓HPや、三森さんの新歓についてのメールを参考にし、自分たちの新歓活動を考え直すきっかけにしました。

□宮城学院女子大学

新歓で行ったこと

- ・ステージ発表
震災の影響で延期になっていましたが、サークル紹介できる時間を与えられたのでステージ上で発表しました。といっても簡単に文章を読み上げる程度でした。
- ・ビラ配り
ビラです。1000枚くらい印刷しましたっけ…。朝とか配りました。
- ・張り紙
20枚くらいをいたるところの掲示板に張りました。カラー印刷で量産しました。
- ・冊子
オリエンテーリングについての簡単な説明と年間予定、部員の自己紹介などを冊子にまとめて準備しました。主に説明を聞きに来てくれた新入生に渡しました。
- ・ポスト
部室に誰もいないときに新入生がアドレスを書いた紙を入れてくれるように、部室のドア付近に設置しました。併せて上記の冊子も自由に持っていけるように置いておきました。アドレスを入れてくれた子がたくさんいたのでやってよかったです。
- ・部室待機
放課後新入生が来てくれると信じ、待機していました。
- ・体験
土日など主に東北大学さんが企画した新歓に参加させてもらっていました。楽しめる内容が多かったです。

□東北大学

・全体的な新歓活動の流れ

私たちの新歓は毎年早くから始まります。東北大大会の地図調査が途中で入るためです。12月下旬ころに新歓隊長(責任者)を決め、その後どのような新入生に入ってほしいのか、どのようにオリエンテーリングをアピールしていくのかという話し合いを数回行いました。私達の代は新歓時と実際の活動とでギャップが大きく少ない人数が辞めてしまったという過去があるので、この点については特に深く話し合いました。

その後新歓用のビラ・立て看板のデザインを決め、地図調査を経て立て看を作成&ビラを印刷、新歓で実際に行う新歓内容と日程の決定、新歓オリエンを企画してもらうチームの決定、そしてインカレの後本格的に準備をする…という予定でした。

しかし地震の影響により新歓で使うはずだったトレインの一つ(荒浜)が完全に使えなくなり、大学の予定も狂ったため日程に関しては一から練り直しとなりました。この時期が新歓隊長としては一番大変だったかもしれません。

その後はビラの色塗りや新歓オリエン、BBQなどの企画を並行で行い、入学式後は毎週末に新歓活動、平日にビラ配りをした、という流れです。

・行った新歓活動

①ビラ・立て看板

ビラについては10種類ほど作製しました。こんなに多くの種類を作成する必要はなかったと思いますが、部員に公募したところ良い出来のものが多かったため絞り切れませんでした。またビラはほぼすべてに色鉛筆で色を塗りました。これは色を塗ることで他の部のビラよりも目立たせるためです。しかし塗り始めると凝り過ぎる人が多数出たこともあり全て塗るのに2週間ほどかかってしまいました。

立て看板については20種ほど作製し、大学の中の、新入生の目に付きそうな場所に置きました。この2つにより、ほとんどの新入生に「オリエンテーリング部というものがあるぞ」くらいの印象を与えることはできたと思います。

②新歓オリエン

新歓時期に「オリエンテーリングとはどのようなものか」というのを知ってもらうため、新歓オリエンを行いました。といっても内容的には企画Oのように楽しんでもらうのが目的のものや大学のキャンパスや公園で行ったりとライトなものがほとんどです。これはとにかく、オリエンにポジティブな印象を抱いてもらいたいという目的と軽いトレインでオリエンをすることで新入生にもポストを見つけて早く帰ってくるという根源的な楽しさを体感してもらいたいという目的がありました。

新歓期間中には8回新歓オリエンを行ったが、3チームに分けてオリエンの内容を企画してもらいました。また各自企画書・反省書を作ってもらいどのように運営するかを明確化しました。

③花見、BBQ

新入生とフランクに話す機会を多く設けるため花見やBBQも行いました。ただし花見やBBQ単体ではやらずに新歓オリエンとセットで行いました。そうすることでそれ目当てで来たような人にもオリエンを体験させることが出来ました。

・新入生への対応

新歓期間中はキャンパス内のよく人が通る場所にブースを設置して新入生に対応しました。新入生の立場からすると、少し興味を持ってもらえなかなか部室には行きづらいと思うのでブースや使っていない教室で説明を行います。

した。またビラ配りの際も、ビラを配るだけでなくブースに連れて行って説明をし、新歓についての詳しい情報を伝えるためのメールアドレスをもらうまでを目標としました。

□福島大学

○新歓で行ったこと

- ・ポスターの作成
ポスターを数種類作成し、校内の掲示板に貼った。
- ・入学式でのビラ配り
ビラを三種類作成し、入学式に来ていた新生に300枚ほど配布した。
部員10人程度で配布したのだが、すぐに配り終えてしまったので来年は配布する枚数を増やしてもよいかもしれない。
- ・大学で行われるサークルオリエンテーション（通称：サオリ）においてブースを設け、勧誘を行った。（ブースには常に女子部員がいるようにして、女子もいるよ！アピールした）
その際、簡単なオリエンティングの説明、部員紹介などを冊子にして配布。
ブースに来てくれた人に、名簿に連絡先を書いてもらった。
また、校内にポストを3つ設けて体験オリエンを実施した。
手の空いている部員は、ビラ配り、呼びかけ等を行った。
- ・部員が各自、知り合いの新生・友達等を勧誘
- ・HPで、部活紹介、普段の部員の様子を伝えるなどして、福島大 OLC の認知度 UP を目指した。

以上のような感じです。特に北海道大学の twitter アカウントの利用は、新生に twitter が普及していれば効果がありそうですね。岩手大・岩手県立大学は合同で新歓を行うことが多いようですが、体験の企画力が強いようです。イレイザー付きとか移動ポストつきとか、普通では物足りないようです。東北では毎回の体験会後の反省や新歓掲示板による情報の共有、MG では冊子を作ったり部室ポストを設置したりと、いろいろな工夫が見られました。個人的に、福島大のキャンパスに3つポストを設置し、説明を聞きに来た人にその場でオリエンティングを体験してもらおうというのが、説明も手っ取り早く、すぐに身をもってオリエンとは何かということを知ってもらうことができるため良いなと思いました。

今後は新生の定着が課題であると、すべての大学が報告していました。新歓が終わったことで新生に対するフォローをやめてしまえば、今後オリエンから離れてしまう新生が出てきてしまうでしょう。これからが勝負だと思います。どの大学も今後も頑張っていってほしいですね。

関東学連

幹事長 池田純也

◆各大学新歓の様子

○駿河台大学

3人の新入生（いずれも1年生男子）
同じ1年生が誘うのが一番効果的なのではないか？

○茨城大学

男子10人、女子1人の計11人が入部しました。昨年度の男子3人、女子1人から比較すると、新歓活動は成功したと思えます。

新歓時はビラの配れる期間が例年より多くなったこともあり、いつもより多い、およそ1200枚を配布しました。しかし、入部者のほとんどはビラをもらっていない人であったのでその効果がでたかと言われたら必ずしもそうではなく、ビラ配りに関してはまだ課題は多かったと思われる。

新人の様子。

非常に意欲的である。

水曜日のサークル活動日も積極的な参加がみられるし、土日の活動参加率も結構高い。

オリエンテーリングを楽しめているのではないかと思う。

○東京工業大学

新人の人数

男子11名、女子1名の合計12名です。（昨年男子10名、一昨年は男子17名）

新人の様子

今年の新人は例年よりもやや多めであったこともあり、活動に参加しなくなってしまう

新人が出てきてしまうのではないかと危惧していましたが授業後のランニングにも

積極的に参加してくれています。先日も、早東工戦へ新人の全員が参加しており

驚きを隠せませんでした。

担当者よりコメント

今回の新歓では、昨年度の担当者からの引継ぎができない状況、それに加えて、今年女子を入部させないと女子が部内からいなくなってしまうというプレッシャーから始まった今年の新歓でしたが、多くの新入生と女子を獲得することができ、今年度の新歓は成功であったと言えます。

今年度の新歓は右往左往しながらも、なんとか成功にねじりこむことができましたが、次回以降、よりスムーズに動くことができるように、これまで作られていなかった引継ぎ文書を作成しています

○相模女子大学

新人の数は5名。あと1名ほど兼部の形で入ってくれるかもしれませんがまだ未定です。

新人の様子は、まだ参加率がいいとは言えない状況ですが、参加した日は楽しんでくれているようですし提携している大学の新人とも仲良くなっているようです。

担当者のコメント

まだまだ気を抜けない状況ですが頑張って女子を定着させていきたいと思います。

○東京農工大学

新人の概数

今年度 男 14人 女 4人

前年度 男 13人 女 5人

前年度との違いは殆どなかった

新人の様子

前年度に比べると、入学前からオリエンを知っている人が多かったように思える。前年度と違い、一人暮らしが多いためか、新入部員は皆すぐに仲良くなっていた。

各大学担当者よりコメント

農工大学新歓担当 市谷優太

私達農工大オリエンテーリング部は五月に一年生17人、二年生1人の計18人の新入部員を迎えることができました。昨年や一昨年の新入部員数を比較すると年々増えてきているので良い傾向だと感じます。特に今年はオリエンテーリングという競技の存在を知っている新入部員が多かったような気がします。新歓も無事終了したのでこれからは大会にむけてトレーニングを頑張っていこうとおもいます。

○横浜市立大学

人数：男子4人、女子1人(2年生)

新人の様子：みんなやる気があり、地図トレにもラントレにも積極的に参加してくれています。

コメント：横市だけで5人も入ってくれました。新入生のやる気と爽やかさに、上級生も刺激を受けています。

みんなオリエンもメキメキ上達しており、これからの楽しみです。

○東大 OLK

「新入生の数」

東京大学 33 人

一橋大学 4 人

実践女子大学 25 人（うち実践女子短期大学性 2 人を含む）

十文字学園女子大学 8 人

津田塾大学 7 人

お茶の水女子大学 2 人

学芸大学 1 人

大妻女子短期大学 1 人

（学芸大学と大妻女子短期大学には新歓を行っておりませんが、

HP 等を見て勝手に来てくれました。しかし定着は難しいようで、最近はあまり来ておりません。）

新入生の様子

東京大学

今年は遊具で遊ぶ新入生が多かった。サッカー、バドミントンなど。

早くから新入生が集まり仲良くなったりし、早々にサークルに入ります！と宣言する新入生が多かった。

新入生を待たせてしまう場面（回る時のグループ分け、発表時、移動までの微妙な時間）があった。このとき新入生を一人にしてしまうことがあった。

ガチでスポーツをやりたい子とかに、オリエンテーリングがスポーツだという印象を与えるのが最初（小金井公園など）は難しかった。

女子の相手をするのができない新入生が多く他大の子と積極的に絡めない子も多かった。

トリムとかに抵抗がある子はいなかった

水トレ、木トレ等のガチなイベントへの参加率がよい。陸上部出身が多いため。

またたくさん的人数が水トレに参加することで、陸上出身者以外の子も水トレなどに高い意識を持って参加してくれている。

オリエンが体力だけでないことがよく伝わっていると思う。

今年も同期同士仲が良い。

一橋大学

一橋渉外の細淵です。

一橋はとりあえず現在 1 年が 3 人、2 年が 1 人

来てくれています。

太田（1 年）は経験者ということもあってこの前のロングセレでは 1 位でした！

田上（1 年）は参加率も高く、だんだんとオリエンが上達してきているようです。

宮脇（1 年）は参加率は低いものの、これからの成長に期待しています。

秋永（2 年）はダブルスクールで忙しい合間をぬってロングセレなど大会に参加してくれています。

一橋は例年同様に少人数しか固定させることができませんでしたが、この現在固定しているメンバーを離すことなく、これからも頑張っていきたいと思っています。

実践女子大学

今年も実践女子にはたくさん OLK に入ってくれました！

毎週月曜のお昼の M への参加はますますです。ほんわかやっています。

OLK の活動への参加は個人差がありますが、公園や近場のトレインへの参加は多いです。

新歓では上級生がついて回っていましたが、最近の練習会では 1 人で回るようになりました。

レースの感想を聞くと「難しかったです！」と言われますが、皆さいごまでちゃんと回って帰ってくるので徐々に技術向上のためにアドバイスしていけたらなあと思います。

まずは女子大として、定着してくれるようにこれからもがんばりたいです。

ロングセレのエントリーが去年より少なく心配なところがありますが、今後の夏合宿や夏場所で山でのオリエンの楽しさをわかってもらい、多くの実践性が定着してくればなっと思います。

十文字学園大学

十文字櫻井です。

十文字の新入生の様子は、とても積極的です。

練習会や大会には、時間とお金が許す限り来て頑張っています。

見ていると、正置など基本もしっかりできています。

ほぼ毎回参加する部員もいます。

また、十文字学内で月曜日と木曜日にやっている地図読みには、みんなとても積極的に参加してくれています。

みんなと言っても、多少は、いつもいる部員とたまに来る部員の二極化してきている部分も少しはあります。

夏合宿にもとても興味を示しています。

細く長く続けてくれそうだなと思う部員と、どんどん参加してくるだろうと思う部員がいます。

全体的には皆仲が良く、良い感じだと思います。

新入生 8 人中、幽霊部員になりかけている部員は 1 人です。

このような感じです。
よろしくお祈りします。

津田塾大学

とりあえず新入生五人と二年に新しく二人入りました。

津田塾は地震の影響で大学の授業が始まるのが1ヶ月遅いなどの問題もありましたが、新歓事態にあまり大きな影響はなく、現在新入生も予想以上に練習などに積極的に参加してくれています。

津田塾の新歓の活動ですが、4月のはじめはほとんどなく、5月に入ってから練習会への勧誘やサークルオリエンテーションなどを通しOLKの活動を宣伝しました。

サークルオリエンテーションなどでは東大や実践など他の大学の方のサポートもあり、たくさんの一年生に来ていただけました。

新歓が終わった今でも、練習や大会などのメールは新入生に回しています。

また先輩後輩の関係もよく、定期的にミーティングなどで親睦を深めています。

お茶の水女子大学

お茶の水女子大学は2人の新入生が入ってくれましたが、そのうち1人はバイト等で忙しくてあまり参加できていません。

稲毛さんは参加してくれている方の1年生ですが、オリエンテーリングに対して非常に意欲的に取り組んでおります。

センスがあるのか、新歓期から常に1女でトップのタイムで帰ってくるし、関東学連ロングセレでもWFで優勝しました。

本人も、オリエンはやればやるほど楽しすぎてやばいです！と言っていますし、最近男子に混じってトレーニングにも顔を出したり、長野県大会のような外部の大会に参加するほどです。

彼女は将来きっと大物になってくれるでしょう。

新歓のやり方を変えて成功した大学があればその方法

特に変更点はなかったが、オリエンテーリングへの認知度（ほとんどの東大生はオリエンの存在を知らない）を高めるため、ビラを大量に印刷した。新入生約3000人に対し、10000枚くらい刷った。

→これによる影響かはわからないが、新歓に参加する新入生は多かった。

参加率が自由であることを積極的にアピール

→人数が増えたが、兼サーする人が増えた。あまり良くなかったかもしれないが、オリエンを認知してもらおうという観点から見ればよかった。これにより新入生づてで新たな参加者が増えた。また新歓期終了後も何人か入りたいと言ってくる新入生がいた。

水トレや木トレなどの純粋な走るトレを積極的に紹介（あくまで任意参加ということを強調、走る手が苦手そうな子にもしっかりケアすることを伝え実際にそうする）

→陸上部や走りたい人の取り込みに成功。しかし体力増強のために兼サーし水トレだけに参加する新入生も見られた。

メールを回す（新歓練習会のお知らせなどなど）担当者を決めた。毎回毎回告知、新歓来てくれてありがとうメールを新歓代表が割り振り送らせた。

→一定の効果はあったと思う。やはり毎回同じ先輩がメールを回してくれる、アドレスを交換した先輩がメールをくれるというのは印象がいいと思います。

新歓代表よりコメント

まず今年の新歓について、現時点で30人強の人数を東大として確保できたこと。また、そのうち陸上経験者を多く確保でき、多く定着していることは素直にうれしい。

だが新歓を振り返れば、あそこでああしておけばよかった、ここはこうすればとかいろいろ反省が浮かぶ。

まず個人的な反省から書くと

新歓準備期（2～3月）において、去年の反省もふまえて新歓練習会の申請に早めにとりかかる。しかしその後新歓の準備（ビラ刷り、紹介冊子の作成、立て看板の作成、などなど）を自分がなかなかスタートしなかった。

（引き継ぎ資料をあまり熟読していなかったことに因る）これにより、3月後半怒涛の忙しさになる。またビラなども去年のを流用するなど、あまりよいものではなかった。また新歓にOLK全員の心を向かわせるという最も重要な役割をあまりできなかった、と個人的に思っている。もう少しいろいろな仕事を他の人に投げても良かったと思う。

その後反省し、細心の注意を払った。新歓代表の仕事は東大だけでなく、OLKを構成するすべての大学に影響してしまうことをしっかり念頭において仕事を行った。

サクオリは東大に関してはまあうまくいったと思うが、もう少し人数をかけられると良かった。やはり一番効果を発揮するのは、直接教室に連れ込むことだと考えているので、もう少し人手が欲しかった。

続いて新歓練習会についての反省、まず4月10日小金井公園であるが、駅～会館～公園がどれも遠く、もう少し新入生にとって楽だとよかった。またそれは仕方ないにしても、その道程で新入生ともっと積極的にからむべ

き。放置されている新入生はいた。またすべての練習会について言えることだが、会館や公園の場所くらいは各自がしっかり理解する、あるいは地図を事前にメーリスで回す等の工夫がほしかった。移動の際、上級生がばらけたときに、行き方を知らない上級生しかおらず新入生に無用な心配を与えるだけでなく、タイムテーブルに遅れを生じさせかねない。

また、飲み会について、上級生は明らかに飲みすぎである。

それと今回最もよくなかったことは資材の管理

新歓ということで資材を誰が持つとかそういうことを考える人がいなかった。

途中から分担などはすべて自分で行ったが、新歓代表の負担が重かったように思った。中でも貸しコン、レンタルEカードの両方が一橋渉外のせいで行方不明になってしまったことなど、大惨事だった。

また駒場生が少ないとき（真保石野が JWOC セレで不在など）に資材の持ち手がとても少なくなり大きな負担を強いられた。

今後資材割り振り担当などを決められると良いと思う。また飲み会で自分の資材を持ち帰り忘れてたりしないようにも注意が必要である。

また新歓期が終わっても勝負はそこからで、定着してもらわなければ何の意味もないことを意識する必要があります。新歓終わっても新入生とは積極的に話し、仲良くならなければ残ってもらえません。同期で仲良くなるのは大事だけど、新入生とももっと仲良くなってほしいと思います。

○OC（早稲田・日本女子大学）

早稲田：男 1 1（9）女 2（0）

日本女子：4（5）

*（）は去年の人数

今年は、去年より多い人数の新入生が入ってくれました。

また、サークルの行事（平日の地図読み、トレなども）への参加率も高く、やる気のある新入生が多いです。

新歓は、決められた新歓期間内にビラ配り、ブースでの説明、毎週日曜日にオリエン&レクを4回、毎週金曜日に食事会を4回やりました。

新歓内容は去年とさほど変わらないですが、今年は毎週日曜日のイベントをオリエンよりレクの要素を多くしました。具体的には、みんなでBBQをやった、普通のオリエンだけではなくポイント0もやった、オリエン後にサッカー、アルティメットです。そのためOCのアットホームな雰囲気が新入生により伝わり入ってくれたのだと思います。

また今年は、早稲女が2人入りました。

入ってくれた理由としては、例年通りの新歓をしたのでこれといったものではありませんが、毎週水曜日にやっているトレーニング（去年までは男子しか来なかった。トレはランニング、坂ダッシュなどきついものばかり）を女子が来やすいようにトレーニング内容を大縄、鬼ごっこ、アルティメットなどレク要素の多いものにしたので自然と参加率が高くなり結果、定着して入ってくれたのだと思います。2人とも水トレに毎週欠かさず来てくれています。

まとめとしては、新歓が成功した要因は「レク要素を増やした」だと思います。

◆まとめ

関東学連ではまだ新人の学連登録を行っていない学校もあるために、全体の人数がどうなったか把握できていないが、各大学の状況を聞く限りどこも例年並みもしくは例年以上の成果が上がっているように思われる。また人数が多いだけでなく高校からの経験者も各大学に入っており、インカレロングのエリートになるくらいの実力を持つ人間が複数いるということで、彼らを中心に競技レベルも上がっていくのではないかと思う。

北信越学連

幹事長 石坂翼樹

◆概況

今年度の北信越学連の加盟員数は78名と昨年の64名を大きく上回り、各大学の新歓は好調であったと言える。部員が増加すれば遠征や合宿の運営など今までよりも大変になることもあると思うが、各大学には工夫を凝らして今まで以上に活発に活動してもらいたい。

今後は学連全体で競技の実力アップを図り、インカレへの影響力を高めていきたい。

◆各大学の新歓

○金沢大学

新人(前年比)：男14(△5) 女2(▲2)

昨年度の新人のインカレへの参加(参加率)：男2(22%) 女3(75%)

2年目加盟(定着率)：男6(67%) 女3(75%)

・新歓の方法

例年通り、ビラ配りと説明会、体験会を中心とした新歓を行った。今年の特徴としては、競技に関する説明を重視した。ビラには、0-mapのコピーを載せ、オリエンとは何たるかを詳細に記した。説明会では、「山を走るスポーツ」であることを明言した。また、新歓用のwebページも作成した。webページを見て入部を決めた新生もいたようなので、それなりの効果はあったように思う。

・新人の様子

基礎的な体力のレベルは比較的高く、競技に対するヤル気に溢れた新人も多い。

・担当者よりコメント

新歓部長 二階堂 竜太郎(仮名)

当初の目標としては「オリエンを理解した上での入部希望者、また楽しもうという意欲のある入部希望者を10人以上」というものであった。新歓中の活動として、部活紹介のユニークなビラを作製、大学での声かけなどを行っていた。結果として男女あわせて10人以上の新生を迎え入れることができた。これも二階堂、そう、この「シチリアの太陽」と呼ばれた男の貫禄の結果であることは言うまでもない。

新歓副部長 池嶋 美佳

今年の新歓ですが、とても良い子たちがたくさん入ってくれました！期待の新人ばかりです。なにせマイコンパスを持っていた子が3人もいたのです。これからの成長がとても楽しみです。

○新潟大学

新人(前年比)：男15(▲5) 女2(▲3)

昨年度の新人のインカレへの参加(参加率)：男14(70%) 女2(40%)

2年目加盟(定着率)：男17(85%) 女4(80%)

・新歓の方法

①ビラ配りと説明会

ビラ配り・勧誘の期間は4月始め(新生ガイダンス)～5月末(ランクアップ合宿前日)ころまで。4月中は新生にビラを大量に配る。その後他の部活がビラ配りを終わらせていく中、まだ決めかねている人、入り損ねてしまった人をターゲットに5月末ごろまでビラを配る。ビラは最初、大量にビラが行きかう中で区別をつけるためにマーカーや色鉛筆で色をつけた。また、何種類かのビラを作り、5月中旬ころに少し内容を変えたものを再び制作した。

説明会は平日の放課後や、各部活動が説明会を一斉に行なう「黎明祭」で開催した。ビラや説明会でオリエンテーリング部を知って練習に参加してくれた新生がとても多かった。

②新歓イベント

新生が上級生とペアになってオリエンテーリングを体験してもらう「新歓練習会1」、オリエンテーリングをしながらカレーの材料を集め、集めた材料でカレーを作る「カレーO」、新生にレースを体験してもらう「新歓練習会2」、大学内に隠されたポストを見つけていく「宝探しO」、公園でオリエンテーリングをしてチェックポイント毎に上級生が用意したゲームをクリアしてポイントを集め、合計ポイント数を競う「新歓大会」、新生にとって初めての山の中でのオリエンテーリングをする「ランクアップ合宿」を行なった。どのイベントも多くの新入生が参加してくれて、非常に盛り上がった。

新歓期間中は、新生をいかに取り込んで楽しませるかが重点だったと思う。ビラ配りとともに説明会を行い知名度アップ&、新歓イベントではもちろん、平日の練習日でも、おごりなどの付加でお得感アップを図った。

・新生の現状・雰囲気

現在、新生は十数人ほど。初の合宿で雨の降る山でのオリエンテーリングも体験し、みんなタフになったと思う。構内での練習後も意見交換をしたりとなかなか元気っ子。まだお互いに探り合いな感じだが1年生同士でも雰囲気はよさそう。

・担当者よりコメント

新生、男子はたくさん入ってくれましたが、女子は1人でした。少し寂しいですね。もっと上手くアピールできたかな、と反省しています。現在の部の雰囲気は、だいぶ慣れてきて和気藹々としています。日々の練習では楽しそうに走っていて、これからの活躍に期待しています。(名塚 晴香)

現在、新入生は平日の練習にも合宿・大会にも積極的に参加する人が多く、活動に熱心に取り組んでいるように思います。ですが、新入生女子が非常に少ないという問題や、新歓イベントでの失敗などの課題もあります。来年度の新歓では、より多くの新入生に入部してもらうために、これらの点を改善することが必要だと感じました。(高橋 建輔)

東海学連

幹事長 大村拓磨

◆新人の概数と前年度との比較の報告

名古屋（男 21 人※+5・女 1 人※+1）、椛山（女 12 人※-1）、静岡（男 7 人※-1）

※前年度比

◆新人の様子(できれば大学ごと)

名古屋（名大 2 年：前田悠作）

本年度の新生は、早い時期からオリエンを経験しています。有志で集まる自主練にも積極的に参加していて、今にも上級生を越えてやらんとばかりのやる気に満ちあふれています。東海の有望な新人達です。

椛山（椛大 2 年：小島優）

やる気のある子が集まり、すでに東海学連合宿に参加したい！など任意の大会や練習会に積極的に参加意志を表したりしています。そして、可愛い子ばかりです！期待して下さい！

静岡（静大 2 年：山田晃司）

説明を熱心に聴いている子から適当に流している子までさまざまいました。どちらかというやる気の多い人がたくさんいるようです。

◆各大学担当者よりコメント

名古屋（名大 2 年：前田悠作）

本年度は 3 月から数回体験会を開くといった早めの新歓活動や、初めての試みである新歓合宿を行いました。また部員の精力的なビラ配りなど広告活動によっても新生へのオリエン部の認知度を高めることが出来たと認められ、早期から新生を取り込むことが出来ました。

名工、南山等の他大への新歓活動も行いました。定着には至りませんでした。新歓時期には数名来てくれました。

本年度の新生の人数目標は「20 人(内女子 3 人)入れる」でしたが、女子も 1 人入ってくれて上々の出来だと感じます。

これから競技、部のムードともにどんどん慣れていって欲しいなと思います。部員一丸となつての新歓活動でした。東海はこれから賑わいを見せていきます！

椛山（椛大 2 年：小島優）

今年、椛山ではビラを 3000 部刷り配りました。3 パターンのビラを用意したためか、「何回も違う種類のビラを見たので試しに来てみました！」と言う子もいました。

12 人と多くも少なくもない人数ですが、初めは全く集まらず、新歓は絶望的でした。毎朝ビラを配り続けたり、個人的に知ってる子にアタックしたりなどしたら結果まずまず集まってくれて、とりあえずほっとしています。

これからは、オリエンの楽しさや部の雰囲気などもより伝えていきたいと思っています。そして、やる気のある子達が多いので先輩として抜かされないように努力をし、引っ張っていききたいと思います。新歓お疲れさまでした！

静岡（静大 2 年：山田晃司）

全体的にみれば、いい感じでできたんじゃないかと思っています。静岡キャンパス、浜松キャンパスのどちらにも去年より多く入ってくれたようで良かったです。

◆地区学連として

全体として、前年度に比べて大体同じくらいの新人が入部してくれました。今年度は他大への新歓も試みましたが定着しなかったのが心残りです。やる気ある期待の新人が多いようです。上級生の我々もいい刺激になっています。

東海学連夏合宿ではたくさんの参加者を集めて東海の親睦を深めたいと思っています。

関西学連

幹事長 寺田啓介

- ①新人の概数(できれば男女別)と前年度との比較
- ②新規加盟校等あればその報告
- ③新人の様子(できれば大学ごと)
- ④新歓をどのように行ったか
- ⑤新歓で良かった点・困った点
- ⑥これからの新人定着に向けて
- ⑦社会人との連携・来年度の要望について

◆京都大学

①男子12名、女子4名の計16名が入部してくれています。まだ入部届未提出ながら、入部の可能性が高い人も2、3名おり、今後も働きかけを続けていきます。昨年度は6月末の時点で男子9名、女子3名の計12名で、比較的好調と言えましたが、今年はそれを上回る事ができており、嬉しく思っています。

②特に無し

③新歓イベントは6月11日で終了しましたが、その後もロングセレ対策練、ロングセレ、京都府民大会と、競技の機会には多く参加してくれています。また、平日にも東山での練習会やトレーニングの動きもあり、特に男子新人の積極性が高いです。

女子新人についてはロングセレなどへの参加率が低いなどの懸念がありましたが、昨日25日に行われた地図読み講習会には女子も多く参加してくれているので、これを機会に参加頻度を高めるよう働きかけていきたいと思えます。

④京大では基本的に4月から6月第2週まで、ほぼ毎週末新歓イベントを開催してきました。新歓を長期に渡って行うことで、サークルに入りそびれた人、一旦入ったものの離れた人などを掬い上げることが出来ていたと思えます。新歓イベントは読み歩きと企画0(またはレースなど)を組み合わせたものを基本形として行いました。その他の企画として、大文字山ナイトハイクや逃走中などを開催しています。

⑤雨天時の対応は迷いました。決行するにしろ、中止するにしろ、新人へのこちらからの連絡は徹底すべきでしょう。また、多数の新人女子が参加してくれたのですが、旧人女子が少ない中でのことだったので、対応しきれない面がありました。無論旧人男子も新人女子の対応はするのですが、すべての面で女子と同等にとはいかないので……

⑥先述しましたが25日に地図読みの講習会を行いました。また、平日にはキャンパス内でスプリント練習会、水曜日には合同トレーニングを行っています。練習会等にも積極的に勧誘して、まずは夏合宿に参加する方向に持って行きたいと思えます。

⑦先日のメールにも書きましたが、バーベキューなどのイベントを開催していただけたことはとても助かりました。今年は他の練習会にはあまり参加しませんでした。来年以降参加させていただくこともあるかと思えます。

◆京都女子大学

①新人は二回生が1人、一回生が19人入部してくれました。去年は現段階で新人は1人だったので、今年はたくさん部員が入ってくれてうれしいです。

②とくになし

③全員新歓には一度は参加してくれており、中には何度も参加してくれた子もいます。ロングセレ対策練やロングセレに参加してくれた子など積極的に参加している子もいれば、新歓合宿だけ参加して、まだオリエンをしたことがない子もいます。さまざまな大会などを利用して、参加頻度を高めていこうと思っています。

④四月の新生生オリエンテーションの時期を中心にビラ配りを行い、その後は京大とともに毎週末の新歓イベントを開催しました。長期的に新歓を行っていたので、他のサークルを回っていた人や入りそびれた人などを呼び込むことができました。また、長い空き時間は部室にいるようにし、いつでも説明をできるようにしていました。

⑤今年はたくさんの新人女子が参加してくれたのですが、旧人女子の参加が少なく、またいつも決まった人が参加していたので負担が大きくなっていました。

⑥これから積極的に地図読みを行って、地図に慣れていってもらおうと考えています。また、練習会などにもどんどん誘っていこうと思っています。

◆大阪大学+関西大学+他

①新人の概数(できれば男女別)と前年度との比較

前年度の新人	阪大	男7人	計7人
	関大	男1人	計1人
	神戸	男1人	計1人
今年度の新人	阪大	男8人	女1人
	関大	男2人	計2人
	兵庫県立	男1人	計1人
	近畿	男1人	計1人
	関学	男1人	計1人

②新規加盟校等あればその報告

現在新しく兵庫県立、近畿、関学の人が体験会や練習会、大会に参加してもらっていますが昨年の後半から練習

会や大会に参加している神戸大も含めて選手として登録するかはまだわかっていないので、本人たちにきいてみます。

③新人の様子(できれば大学ごと)

阪大以外の大学については練習会程度でしか合わないためよくわからないところもありますが、とりあえず阪大について

新人は阪大 OLC の雰囲気にはかなり慣れてきたと思います。新人同士で楽しそうにしています。競技に関してはまだそれほど参加していない人もいればそろそろ新人の中に自主的にトレーニングを始めてきた人も出てきたところでは。

④新歓をどのように行ったか

4月、5月の間はゴールデンウィークを除いて基本的に土日には両方とも何らかの練習会や大会が入るように他の団体が開く練習会に参加させてもらったり、空いている日は自分たちで何か練習をしたりして、新人がいつ参加してもいいようにしていました。

⑤新歓で良かった点・困った点

困った点としては上回生が少なくて阪大内では公園などの簡単な体験会しか開催できなかったことです。

⑥これからの新人定着に向けて

そろそろ新歓向けのコースではなく新人向けでもちゃんとした練習会や大会が開催されるので、そろそろ競技力向上に目を向けてもらうためにも技術をより細かく教えていく、といった感じでしょうか。

⑦社会人との連携・来年度の要望について

今年度と同様に何回か練習会を開いてもらえるとかなり助かると思います。

◆奈良女子大学

①8人。(うち2回生新人が2人)人数は前年度と同じ。

②なし

③早くオリエンをしたいと言ってくれるぐらい、楽しんで積極的に参加してくれている。新人同士の仲も良く、定着した感じに見える。

④ビラとポスターを貼ったり、講堂でサークル紹介を行ったりして、1回生にオリエンとは何か知ってもらえるようにし、興味のある子には茶話会に来てもらって詳しい説明をした。また、さまざまな練習会や大会のほか、キャンパス0や花見、奈良公園0など、学校の近くでのイベントを開催した。

⑤良かった点

- ・社会人の方の助けなどによって、多くの練習会に参加することができた
- ・関西の大学が集まる機会があると楽しく、新人同士も仲良くなれるのでよかった

困った点

- ・新歓の時点で山を体験してもらうことができなかった。

⑥基礎からのサポートをしっかり行いたい。定期的な地図読みをし、例年通りではなくできるだけ早めに独り立ちされたい。新人のやる気があるうちに上回生はしっかりと希望を聞き入れて動かなければならないと思う。

⑦連携させていただくことで、活動の幅が広がるとともに、毎週新歓ができ、新人が参加しやすい状態を作ることができた。来年も協力していただけるよう、頑張りたい。

◆立命館大学

①現段階では男9人 女2人前年度の数倍

②無し

③オリエンテーリングに興味を持ちはじめ、積極的に参加してくれる人が多い

④例年通りブース、ビラ配り、貼りビラ、説明会など

⑤・良かった点

説明会の回数を昨年度の倍近くにした。新人の引率を徹底したなど

・悪かった点

学連練習会がややハードだった。

⑥活動日を増やし、団体の存在を意識してもらう

⑦来年度からは積極的に社会人の方々と連携をもちたい、要望は特に無し

◆帝塚山大学

①男子) 1回生2人、2回生1人 女子) 2回生1人

②無し

③新歓を始めたのが遅くて7/3の学連練習会が初参加になります。まだ会ったことないので私もどんな子か不明です。

④ビラ配り、掲示板のポスター

⑤新歓で良かった点・困った点

良かったことは、興味を持ってくれた子がいたこと。

困ったことは、1人だったので何をすればいいかわからず、連絡をくれた子がいてもその後どうすればいいかわからなかった。

⑥とりあえず参加してもらって体験してもらおうかなと。私の力ではできることがあまりないので、他大学の方た

ちに助けて頂きたいです。

⑦今年、入部者がいたら来年はまじめに新歓します！